

昨年11月に開催された議会報告会の様子



【角田公民館】



【岩屋公民館】



【黒土公民館】



【中央公民館】

こんにちは 豊前市議会です



12月定例会(11/29～12/15)主な内容

目次 CONTENTS

議案の概要	2P
平成29年12月定例会 議案審議結果	3P
一般質問	4～10P
議会報告会	11P
トピックス・編集後記	12P

No.99
平成30年2月

議会へのご意見をお寄せ下さい

発行/豊前市議会 豊前市大字吉木955 TEL82-1111 内線1311
ホームページ/<http://www.city.buzen.lg.jp>

議案の概要

平成29年第5回(12月)定例会は、11月29日から12月15日までの17日間の会期で開催されました。

本定例会には、市長より条例6件、予算3件、その他の案件6件、合わせて15議案が提出され、それぞれ所管の常任委員会で慎重に審査し、全ての議案が原案どおり可決・承認されました。

また、報告案件1件についても、全会一致で承認されました。

釜井健介氏に黙とう

去る11月23日に、元豊前市議会議員であり、前豊前市長であります釜井健介氏をご逝去されました。

本会議初日の議事に入る前に、故人の生前をしのび、心から哀悼の意を表しまして、ご冥福をお祈りし、1分間の黙とうを捧げました。

産業建設委員会の申し入れ事項

(議案第57号)

- ※ 豊前市中小企業融資金は、零細企業・中小企業を育成するためにも、金利の引き下げ等、融資を借りやすくするような制度の構築を図ること。
また、引き続き、零細・中小企業に対し、支援できるよう工夫に努めること。

(議案第66号)

- ※ 災害対象雨量を超えた場合は、区長会、建設業界へお願いし、災害箇所把握をし、早期発見に努めること。
を申し入れました。

豊前市初の部制へ!!

豊前市初となる部制、議案第58号「部制導入に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について」は、総務委員会に付託され、慎重に審議をいたしました。その中で委員より、「慎重に部制導入を検討する必要があるのではないか。もう少し時間をかけて審議すべきではないか。」「何が具体的によくなるのか、何が効率的によくなるのか、そのためには各課長たちがいまの意識をどうしないといけないのか、部長はどうしないといけないのか、という具体策をしっかりと揉んで納得できるようにあげてもらいたい。」「副市長不在の中で、部長制度をつかって部長がそれだけの責任を取れるのか。」「まだ、十分な準備が出来てないのでは」等の意見が続出しましたが、「4月までの残り少ない期間であります、最善の努力をします。」「市長部局3部、独立機関である教育委員会、議会を合わせた5部体制で始めさせて下さい。その後につきましては、順次、市民目線に立って改善していきます。」「議会答弁などのこれからのことは、よく議会運営委員会と協議させて下さい。」と執行部より答弁がありました。

それを受け、「機構改革のための機構改革でなく、市民のための機構改革に、最後まで、真剣に取り組んでもらいたい」と申し入れを行いました。

その後、採決をし、全会一致で可決されました。

平成29年12月定例会 議案審議結果

「○」……………賛成 「●」……………反対
 「議長」………議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	為藤直美	内丸伸一	秋成英人	郡司掛八千代	黒江哲文	平田精一	福井昌文	鎌田晃二	岡本清靖	古川哲也	尾澤満治	爪丸裕和	磯永優二	賛成	反対
議案第56号	豊前市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第57号	豊前市中小企業融資金の預託に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第58号	部制導入に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第59号	豊前市長の給与の特例に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第60号	指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第61号	指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第62号	指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第63号	指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第64号	指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第65号	専決処分について(平成29年度豊前市一般会計補正予算 第4号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第66号	平成29年度豊前市一般会計補正予算(第5号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第67号	豊前市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第68号	豊前市職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第69号	平成29年度豊前市一般会計補正予算(第6号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第70号	平成29年度豊前市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『平成豊友会』の一般質問



磯永 優二



福井 昌文



秋成 英人



鎌田 晃二

【質問項目】

(秋成英人議員)

- ① ふるさと納税
- ② 観光協会
- ③ 定住自立圏の促進
- ④ 市バスの活用

(鎌田晃二議員)

- ⑤ 終活支援
- ⑥ 障がい者施策
- ⑦ 教育行政
- ⑧ し尿処理の現状

(福井昌文議員)

- ⑨ ふるさと納税
- ⑩ 教育問題
- ⑪ 公共事業の推進
- ⑫ し尿処理の現状

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。

また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご閲覧ください。

広域で取り組むなど ふるさと納税に力を

秋成議員 ふるさと納税制度は、生まれ育ったふるさとに貢献できる制度、自分の意思で応援したい自治体を選ぶことができる制度として創設された。そこで、お尋ねしたい。ふるさと納税の寄付金の額はいくらか。

総合政策課長 平成27年度は約1200万円、平成28年度は約4倍の4950万円である。

秋成議員 ふるさと納税の使い道は、首長のアイデア一つで無限の可能性を持つ財源である。近隣自治体の中でも特に大きな成果を上げている上毛町を参考にすべきであると思う。選ばれる自治体と選ばれない自治体の差は何か、具体的に調査を行っているか伺いたい。

総合政策課長 上毛町は肉類が非常に好評を博している。上位にある自治体、

急激に伸ばしている自治体も特に肉類等に力を入れていると認識している。

秋成議員 先進的な取り組みとして、大分県の国東・佐伯・杵築・臼杵・豊後大野の5市は共同でPR活動を展開している。国東市の活力創生課は、「一つの自治体が単独でPRをするよりも、効率的で事務費も軽減出来る。今後は、県内で参加自治体を増やしていきたい」とコメントしている。このことからわかるように、広域で事業を

行うことは、自治体同士の関係が向上することのみならず、事業費の削減にも効果がある。また、近隣自治体が協力するということは、何よりも都会に住んでいる地元出身者に大きな宣伝になると思う。そこで、豊前市が中心になり、近隣自治体と一緒にPR活動を展開したらいいのではと思うが、市長の考えを伺いたい。

市長 自治体それぞれで思惑が違うので、意見を聞きながら指摘の点を検討していきたい。

秋成議員 豊前市出身で今は都会で活躍されている方々に、ふるさとの発展のため、寄付をしていただく努力を、今以上力を入れて取り組んでいただきたい。

豊前市ふるさと納税

豊前市

- ① お礼の品がさらに充実!
- ② お申込みが簡単!
- ③ クレジット払込!
- ④ ポイント制!
- ⑤ 寄附は年度内に何度でもOK!

豊前市役所 総合政策課 企画管理係
TEL 0979-82-1111 FAX 0979-83-2560
MAIL kikaku@city.buzen.lg.jp

障がい者に 優しいまちへ

ジにリンクして、リーフレットの印刷が出来るようになっている。今後、議員の提案を踏まえ、本市の独自のパンフレット作成について検討していきたい。

鎌田議員 全てのの人にやさしいまちづくりを目指し、ハード・ソフトの両面でバリアフリー化をすべきと思うが、本市の取り組みを伺いたい。

福祉課長 バリアフリー法

鎌田議員 昨年4月から施行された障害者差別解消法は、国や自治体、企業や店舗などの事業者に対して、不当な差別的扱いを禁止し、合理的配慮の提供を求め、障がいのある人もない人も共に暮らせる社会の実現を目指している。インターネットで他自治体であるが障害者差別解消法のハンドブックを印刷した。本市においても作成して、公民館・企業等に配布したらいかがか。

福祉課長 障害者差別解消法については、昨年12月の市報の紙面でお知らせした。また、市のホームページから内閣府のホームペー

い、手話言語法制定の機運が高まっている。条例の制定の予定はあるのか伺いたい。

福祉課長 手話の理解を広げる取り組みになると思うが、関係機関と調整し、今年度、障がい者福祉計画を策定するようになっており、その中で取り組みについて協議検討したい。

市長 条例について研究していきたい。

鎌田議員 全ての障がいのある方に対してサポートできる仕組みを作るのが、自治体の務めであると思うので是非お願いしたい。

子育て・高齢者・障がい者・地域福祉など、誰もがお互いに支えられる地域共生社会の構築が求められる今、ダブルケアの支援が欠かせないと思う。ダブルケアの実態を把握しているか。

福祉課長 把握しているのは3世帯である。

鎌田議員 やさしい施策を考え、周知をする。その時には、パンフレット等で案内し相談のついでにしたい。

全職員一丸となって し尿処理問題の解決を

福井議員 市民が公共下水道及び農業集落排水に繋ぎこんでいる人数と、豊前広域環境施設組合のし尿処理施設を利用して

いる人数を御存知か。市長。公共下水道等には約7千人、し尿処理施設を利用して

いる人数を御存知か。市長。公共下水道等には約7千人、し尿処理施設を利用して

万8千人である。福井議員 し尿処理施設を市民の3分の2以上の多くの方が利用している。そこで先の9月議会で、吉富・上毛・豊前の住民

のため、時間が押し迫っているが、至急両町と協定を結び、漁協・地元

に理解が得られるよう最善の努力をし、一日も早く良い答が出ることを期待しているとお願ひしたが、

答えが出たか伺いたい。生活環境課長 両町に9月議会終了後、2度お願ひに行つたが、結論が出な

かったという状況である。漁協・地元とも話し合いをして

いる人数を御存知か。市長。公共下水道等には約7千人、し尿処理施設を利用して

いる人数を御存知か。市長。公共下水道等には約7千人、し尿処理施設を利用して

いる人数を御存知か。市長。公共下水道等には約7千人、し尿処理施設を利用して

いる人数を御存知か。市長。公共下水道等には約7千人、し尿処理施設を利用して

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『平成豊明会』の一般質問



平田 精一



黒江 哲文



内丸 伸一

【質問項目】

(平田 精一 議員)

- ① 移住者の促進
 - ② 防災対策と地域のコミュニティ
 - ③ 南部地域の迷惑施設の進捗状況
 - ④ 高齢化社会の対応
 - ⑤ 獣肉処理施設の今後の展望
- (内丸 伸一 議員)
- ⑥ 環境関連施設
 - ⑦ 防災
 - ⑧ 投票率向上
 - ⑨ 市民の声や要望の対応
- (黒江 哲文 議員)

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておられますので、お気軽にご覧ください。

地域コミュニティの

確立が重要

平田議員 防災だけでなく、防災という目的のもと、同時に地域のコミュニティがあればいろんな問題を解決できると思うが、今後、自主防災組織をどのように作っていくのか。

後、皆が集まるコミュニティをつくるのが一番大事だと思う。地域づくり協議会を進めるうえで、どのような政策を考えているか伺いたい。

総務課長 地域コミュニティの育成にあたっては、自主防災組織や子ども・高齢者見守り活動等が地域住民をつなぎ、絆を深める一つの大きな柱になると考える。市としても、そのために地域のリーダーとなる人材の育成、活用が必要不可欠だと考えている。また、生涯学習課が進めている地域づくり協議会等と連携しながら取り組んでいきたい。

生涯学習課長 豊前市の生涯学習推進の基本計画にのっとり、今後、公民館運営審議会を地域づくり協議会に移行したいということでご意見を伺っている。地域の様々な課題等を地域づくり計画の中で取りまとめ、地域づくりのために生かしていただきたいと、お願いしている。当然、豊前市のほうも必要な支援を一緒に考えながら、官民協働のまちづくりを進めていきたい。

平田議員 防災を一つの目的にするのもいいが、地域が一つ一つその課題を踏まえたうえで、今

平田議員 続いて、公共施設の耐震について伺いたい。今回の熊本地震で庁舎が完全崩壊し、情報の発信元であり情報集約

する庁舎機能に支障をきたしたということがあった。豊前市の庁舎は大丈夫なのか。

財務課長 平成27年度に耐震診断を行ったが、耐震不足ということで、まだ、対策ができていない。

平田議員 防災対策、地域のコミュニティ、耐震について、市長のご意見を伺いたい。

市長 熊本地震で基本的な行政事務が滞ったことから、国のほうも市役所を最優先するべきという流れになってきた。これからは、いざというときのための防災、そして、復旧・復興の拠点になる市役所を優先して整備しなければならぬという認識を持っている。

平田議員 やはり、庁舎を守ることは、市民の生命・財産を守ることに第1歩だと思うので、お金がかかることだが、今後しっかりと検討してやっていただきたいと思う。

消防団員の スキルアップを

内丸議員 現在、豊前市でも年2回程度、防災訓練を行っているが、区割や、どこの地区が終了し、どこを今後行うなど、防災訓練の現状はどうなっているか伺いたい。

総務課長 防災訓練については、平成24年度に大村地区を実施して以来、現在までに市内8校区と、八屋地区の7行政区が終了している。今後については、来年度に千束地区と八屋地区の残り4行政区を実施する予定で、平成30年度には全行政区が終了する運びとなっている。

内丸議員 現段階の防災訓練の進め方は、まず行

政区別に自主防災組織をつくるための話し合いをして、その後、組織設立、第1回ワークシヨップで大きな訓練の内容説明、第2回で避難経路の確認や地図の作成、訓練当日のスケジュール報告等を経て、防災訓練という流れになっている。八屋地区での感想だが、ワークシヨップで区毎に分かれて、どうしていいかわからない者同士、ああでもない、こうでもないと言いながら地図を作成していたので、その中に、しっかりと理解した人が一人でもいて、リーダーシップを取って進めてくれればと思う。

そこで、市内各地に万遍なくいる消防団員に防災訓練の進め方などを教育する機会をつくってもらい、避難訓練のワークシヨップなどでリーダーシップを取ってもらうことで、市職員の負担を軽減し、消防団員のスキルアップを図れるのではないかなと思うがいかがか。

総務課長 防災研修会や防災ワークシヨップでは、

まず地域の消防団員が誰なのかを住民の皆さんにわかっていたり、また、各地域に参加して、防災リーダーとしてのご意見や、住民と意見交換していただくことを目的に、参加をお願いしている。自主防災組織の強化にあたっては、消防団員の皆さんのご協力が不可欠であると考えている。今後については、今年度より開始した防災スキルアップ研修会等の参加等を含めて、消防団員のスキルアップについて、分団長会議に諮り、検討させていただきたいと考えている。

内丸議員 近年、防災訓練の重要性を理解している人は多くなってきていると思うが、訓練には費用や時間がかかる。今後はそれを無駄にせず、もしものときに少しでも役に立つ中身のある防災訓練を行えるように、しっかりと勉強する環境も整えていただきたい。

文化的景観を 守るために

黒江議員 岩屋地区の重要課題で、議会報告会にもあがってきた要望書に、鳥井畑、産家地区の棚田の管理と維持について、農業の振興、維持管理などどのようにしていくべきか検討していただきたいとあるが、対応はどのようにされるか。

農林水産課長 生涯学習課との打ち合わせの中で、一緒に地区連絡協議会の中に入り、取り組んでいくと確認をした。

生涯学習課長 平成24年の、国の重要文化的景観の選定以来、地元との協議の場として、地区連絡協議会を組織し、協議をしている。

観光物産課長 農地自体に直接権限等はないが、地元の方々に観光客が使うトイレ等の管理等をお願いしている。

黒江議員 それぞれ協議

会等で話をしたということだが、今まで進んでいない現実がある。豊前市では、この求菩提の農村景観が守られるよう、景観農業振興地域計画を策定したようだが、13年経った今でも地域からの要望は何も変わっていない。集落住民だけでは厳しいので、そこに踏み込んで景観としてどうするのか、ということを考えていただきたい。この文化的景観について、地域の問題か、行政の問題か、その辺をしっかりと見ていただきたいし、やはり、行政が手を加えてするべきではないかと思う。いま手を打っておかないと本当に荒れたときに、どれだけの経費や労力、景観も変わるかということも視野においてやるべきだと思うが、担当課長、意気込みを一言。

農林水産課長 やはり、行

政として主体的に景観維持ができるよう、関係各課と連携しながら取り組んでいきたいと考えている。

黒江議員 地元はこれだけ大変なリスクを負いながらやっているという現状をしっかりとみていただきたい。行政だけでは厳しいと思うが、問題解決には、地域任せではなく、行政が先頭に立ってやるべきだと思うがどうか。

市長 担い手の後継者がいないので困っている。後継者が帰れるような理想を持ちながら、具体的にどういうふうに一歩一歩進めていけばいいのか、一生懸命取り組んでいきたい。

黒江議員 やはり、やった主義ではなくて、成果主義で、その現場を見ていくことが重要かと思うので、ぜひともよろしくお願いしたい。行政は市民のために努める。そして、市民中心の市政運営、そういう理念のもと、一丸となって努めていただきたい。

一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

『無会派議員』の一般質問

【質問項目】

(郡司掛八千代)

- ① A E D対策
- ② 学校管理
- ③ 健康対策
- ④ 空き家対策

【質問項目】

(古川哲也議員)

- ① バイオマス発電所
- ② 高等学校の問題
- ③ 職員の規範認識

【質問項目】

(為藤直美議員)

- ① 豊前市にある文化財保護と観光
- ② 子どもの教育現場の現状
- ③ 生涯現役の為の健康推進

【質問項目】

(岡本清靖議員)

- ① 防災行政無線
- ② 耕作放棄地
- ③ 教育問題

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。

詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご閲覧ください。

健康対策のために

私たちができること



郡司掛 八千代

て伺いたい。

健康長寿推進課長 乳児期は、効果的な虫歯予防の対策に取り組んでいる。幼児期・学童期は、保育園・小学校を通じて、虫歯予防や口腔ケアの啓発に努め、壮年期・高齢期には、歯周病や歯の喪失の予防について、正しい知識の普及・啓発を行い、高齢期の口腔機能の維持・向上に努めている。

郡司掛議員 健康寿命を伸ばしている自治体では、健康管理は、官民共同で対策にあたっているようである。本市の取り組みについて伺いたい。

健康長寿推進課長 地域や人とのつながりを深め、企業や民間団体等を含めた様々な主体が健康づくりに取り組むことができるよう支援していきたいと考えている。

郡司掛議員 健康管理は誰のためでもなく、自分のためである。市では教室等、多くのメニューを用意しているの、市民に周知し多くの参加を呼びかけていただきたい。

郡司掛議員 国において、国民健康づくり運動・健康21を推進することになったが、豊前市では、どのような計画を策定したか伺いたい。

健康長寿推進課長 健康増進計画は、子どもから高齢者まで生涯を通じた健康づくり、介護予防、生きがいを支え合いを大切に生涯現役のまちづくりを柱として策定した。①健康寿命の延伸、②主要な生活習慣病の早期発見・発症予防と重症化予防の推進、③ライフステージに応じた健康づくりの推進、④生活習慣の改善の推進、⑤個人の健康づくりの推進の5つを挙

げて取り組んでいる。郡司掛議員 生活習慣病に対する取り組みについて伺いたい。

健康長寿推進課長 がん対策の推進としては、早期発見のため、がん検診受診率の向上に努める。脳血管疾患や心疾患を含む循環器疾患については、受診推奨・指導に努めている。糖尿病対策については、食生活等の生活習慣の改善に取り組みながら、豊前市の栄養士が指導を行っている。

郡司掛議員 高齢者や糖尿病患者には、認知症の合併が多いとされている。硬い物を噛む習慣を幼児期より習慣化し、顎の筋力をアップさせ、咀嚼力を上げることで脳の発達を促すとの説もある。また認知症予防にも効果があるなど、あらゆる世代に口腔ケアは必要だと思われるが、取り組みにつ

教育現場の

問題について



為藤 直美

為藤議員 豊前で子ども

を育てたいと思うまじくくり、手厚い環境が大切だと思う。公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準化に関する法律もあり、予算面も厳しい状況だと思う。また、専門科目が増え、教員の人員の調整が大変だと聞かすが、現状について伺いたい。

教育長 新しい指導要領が改定の方にある。定数は国の定数法があって、児童生徒数に応じて学級数が決定し、教職員定数も決まる。県もこれに準じて行っているの、教育に手厚い手当は難しい状況である。

為藤議員 地域と共にあ

る学校づくりを推進するための法律、地方教育行政法に基づいた仕組みである、コミュニティスクールについて、豊前市では、どのように導入しているか伺いたい。

学校教育課長 コミュニティスクール、学校運営協議会の導入については、進んではないが、次年度に向けて義務化に伴って学校の活性化を狙いながら、この導入に対応していく必要があると考えている。

為藤議員 全国的にも問題になっているが、小中学校では、教員が給食費・学級費等を現金徴収しているところも多いと聞いている。豊前市ではどのように徴収を行っているのか伺いたい。

学校教育課長 豊前市では、給食費等の公会計あるいは、その他の取り扱いについては学校にお任せしている。困難なケースにつ

いては、準要保護の活用等、相談があった場合は、学校あるいは保護者を通じて対応している。

為藤議員 中学生のハウスのホームステイについて参加人数、現地の日程内容について伺いたい。

総合政策課長 今回、豊前市で海外ホームステイ事業を実施した。概要については、市内在住の中学生20名参加のもとハワイ島ヒロ地区で、各ホストファミリーの皆様のお宅で、ホームステイを3泊4日を実施し、土地の文化・伝統・生活習慣を体験、学習する機会となった。帰国後も、事後研修を実施した。

為藤議員 行けなかった多くの子ども達にもスカイプやT等でつながる授業や交流、学校同士の手紙の交換で日本語を英語に、英語を日本語に訳すなど、考える力と生きる教育、プレゼン力を高め、豊前市に住んでいることで、世界とつながることができると願っています。

為藤議員 行けなかった多くの子ども達にもスカイプやT等でつながる授業や交流、学校同士の手紙の交換で日本語を英語に、英語を日本語に訳すなど、考える力と生きる教育、プレゼン力を高め、豊前市に住んでいることで、世界とつながることができると願っています。

職員の

規範認識について



古川 哲也

古川議員 10月に起きた職員の不祥事に対する市長の所見や認識を伺いたい。

市長 先般発覚した職員による不祥事、市民のみならずや議会のみなさんに申し訳ない限りである。その上で、再発防止と事件の検証という課題がある。検証については、ほぼ解明しており、再発防止対策として、委員会を作り熟慮している。

古川議員 今回のことは司法の手に委ねるべきだと思ふ。原因は何か、ちゃんと把握すべきであると思ふが、いかがか。

総務課長 今回の原因については、委員会を設置し、調査・検討している。この

中で、今回の不祥事が、元係長が一人で担当していた事、多額の現金を頻繁に取扱っていた事、事務処理能力の高い職員であり、上司が信頼し、監督意識が薄れていたという調査結果がでている。今後について、再発防止委員会ですっかり議論しているところである。

古川議員 不祥事の原因やその改善について、市民の方に提示すべきであると思ふが、その認識について、どのように考えているのか。

総務課長 現在、再発防止委員会で取りまとめを行っており、警察への告訴等事前相談も進んでいる。事件の経過、検証、再発防止策をまとめた報告書を議会へ提出したいと考えている。

古川議員 もっと市民に近い感覚を持っていたらいい。豊前市の職員である、胸を張って言えるよ

な職場環境、市民に対する環境を作っていたらいい。たった一回、二回のことでは信用は失墜している。信用回復するには並大抵の努力ではできない。再発防止委員会での意見の集約ができたなら、改善策を示し、市民のみなさんにお知らせしてほしいと思う。もう二度とこのよう

な不祥事は起こさせない、という共通認識をしていただくために、市長の所見を伺いたい。

市長 一人の不祥事が全体の信用・信頼を失ってしまふ。今回の重い事件・事案に対し、市役所で働く一人一人が自分の問題として受け止め、組織としても個人一人一人としても二度とこのようなことは起こさせない、起こさせないよう改善し努力したいと思っている。

古川議員 今回のことを礎として胸にしっかりと刻み、市民の負託に応え得る市役所になるよう心からお願いしたい。地道な努力で、一致団結して豊前市のより良い明日を作っていたらいい。

耕作放棄地について



岡本 清靖

岡本議員 豊前市の農地の面積、耕作放棄地の面積について伺いたい。

農業委員会事務局長 市内の農地の全体面積は、平成28年12月末現在で2081haである。

岡本議員 耕作面積の中で遊休地はどれくらいか。

農林水産課長 2081haの内、水田が概ね1800ha、残りは畑や林間地である。1800haの水田の中で、生産調整等の水田面積として把握している耕作面積が1650ha。水稲作付けが約780ha、麦・大豆等の作付けが200haで、普通作の主要作物が合計すると1000ha。その他、野菜等の作付け等が100ha、主要な作付けを除いた500haは、景観作

物や永年作物の作付け、300haは自己保全農地等が存在している。その中で荒れている農地は約70ha存在している。

岡本議員 耕作放棄地の面積が一番多い地区はどの地区か伺いたい。

農業委員会事務局長 市内の耕作放棄地面積で一番多いのが、角田地区である。上から角田、山田地区であり、ほとんどが山間地域となっている。

岡本議員 角田地区と山田地区の耕作放棄地を解消するために、どのような手立てをしたいと考えているか。

農林水産課長 耕作放棄地を解消するために作物等を年間を通じて栽培していくことが、非常に重要だ。一番の阻害要因は鹿・イノシシ等の侵入による被害である。現在、地域で防止柵を設置する集落に材料等を提供しているが、集落内で協議が困難な場合、市も

積極的に説明に入り支援したい。

岡本議員 前向きに地域の人達と話をしがんばってほしい。岩屋地区では、耕作放棄地は減少しているが、遊休地がある。遊休地を利用する中で、景観という形で薬草を作る人たちがいる。その薬草を広めることも遊休地の解消になると思うが、地域からの話はあったか。

農林水産課長 中山間地の特性に合わせて薬草や山菜等が栽培されており、薬草研究会と話をすることはあるが要望はない。

岡本議員 求菩提山の山道にミツマタが自生している。遊休農地を活用し、ミツマタを植えて造幣局に買い入れをしてもらえば、資産となるし、観賞用にもなる。そのような支援は可能か。

農林水産課長 和紙の原料ミツマタの生産等の支援については、加工や出荷等の工程も必要だと思うので、調査研究したい。
岡本議員 地域の観光景観、雇用等含めてがんばっていただきたい。

他議会からの視察研修受入れ報告

豊前市議会では、他議会から視察研修の申込みが多数あります。

豊前市の事例を勉強していただき、それぞれの自治体で活かしてもらえればと思い、できる限り視察研修の受入れを行っております。

平成29年の受入れ状況は以下のとおりです。

視察研修受入れ状況

来庁の他議会	日程	視察研修内容
宮城県議会	H29. 1. 26	地域公共交通の活性化について(市バス事業)
大阪府箕面市議会	H29. 2. 7	議会改革の取組みについて
埼玉県狭山市議会	H29. 2. 8	空き家対策について(老朽危険家屋除去、空き家バンク等)
千葉県香取市議会	H29. 2. 14	豊前市の主要施策について
山口県周南市議会	H29. 3. 29	うみてらす豊前の概要・運営について
長野県安曇野市議会	H29. 5. 17	道の駅 豊前おこしかけの活動について
京都府亀岡市議会	H29. 7. 10	空き家対策について(老朽危険家屋除去、空き家バンク等)
福岡県久山町議会	H29. 7. 14	コミュニティバスの運行について
山口県光市議会	H29. 11. 20	うみてらす豊前と道の駅 豊前おこしかけについて

開かれた議会を目指して

第6回議会報告会を 開催しました!!

日程	場所	参加者	アンケート回収率
11月14日(火)	角田公民館	85人	59%
11月15日(水)	岩屋公民館	56人	46%
11月16日(木)	黒土公民館	74人	58%
11月17日(金)	中央公民館	73人	58%

昨年の11月に議会報告会を開催しました。

この報告会は、市民の皆さんに議会の中で審議・議論したことについての報告や、市政全般あるいはそれぞれの地域が抱える課題などについて意見交換を行うなど市民の皆さんとの対話を通じて信頼関係を築くことを目的に行うものです。

今年で6回目となる報告会では、議会側から「豊前市に副市長を置かない条例案」や「し尿処理について」「有害鳥獣対策について」など報告し、その後、あらかじめ出していたいただいた各地域からの課題や要望についての意見交換を行いました。

また、参加者にご記入いただいたアンケートには、「し尿処理について進展がないように思えるのが心配だ」「活発な意見が多く出て良かった」「市民の声をこれからも聞いてほしい」などその他たくさんのご意見をいただきました。

それぞれの会場で皆さんからいただいたご意見・ご要望については、今後の議会活動に活かしていきたいと思えます。



文教厚生委員会で視察研修

平成29年11月20日～21日に、東京湾で「物流・交流・環境・安全の4つの機能が融合した開発について」、東京都千代田区の移住促進センターで「自分らしく生きるための生活設計をお手伝いの取組みについて」の研修を実施しました。

東京湾では、視察船の中で、物資が運ばれる海運の物流拠点や新海面処分場、並びに海の森の埋立地や海上公園の整備の説明を受け、ゴミの処分場等の質問をしました。

生涯活躍のまち移住促進センターでは、地域に住むあらゆる人々が、本人が望む地域に移り住み、もしくは暮らし続け、地域住民や多世代と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要に応じ医療や介護・生活支援などのケアを受けることができるような地域づくりの具体化及び実践の支援の説明を受けて意見交換をしました。



東松島市の表敬訪問

平成29年10月29日第27回豊前市カラス天狗祭りのイベントに、東日本大震災発生後から漁船寄付による支援や夏祭り参加などで交流のある宮城県東松島市議会及び職員の皆さんに参加していただきました。東松島市のブースで海苔・牛タン・ホタテ・スパアリブを販売し、大盛況で完売いたしました。30日には、豊前市役所に東松島市の皆さんが訪れ、両市議会で親睦を深めることができました。



編集後記

皆様あけましておめでとうございます。

昨年は身近な場所で災害が起こり、まだ復興は出来ていません。東北、熊本、朝倉と次から次へと起きています。又中国、北朝鮮の問題などもあります。これからは内外の事にも目を向けなければならなくなっています。

情報網の構築、地域間の連携が重要になってきます。会合の折に話題にして欲しいものです。

自分の身は自分で守る自助、皆で助け合う共助、官の力を借りる公助それぞれが部署を把握し、次のステップに進んで頂きたいと思います。

今年は災害もなく穏やかな年である事を念じて新年の挨拶と致します。

郡司掛 八千代

次回の定例市議会は
3月です

議会を傍聴しましょう

市議会の様子を知る最もよい方法です。
多数の方の傍聴をお待ちしています。

- 編集 編集委員会
委員長：黒江哲文
副委員長：郡司掛八千代
委員：内丸伸一 秋成英人
古川哲也

- 印刷 築上印刷有限会社